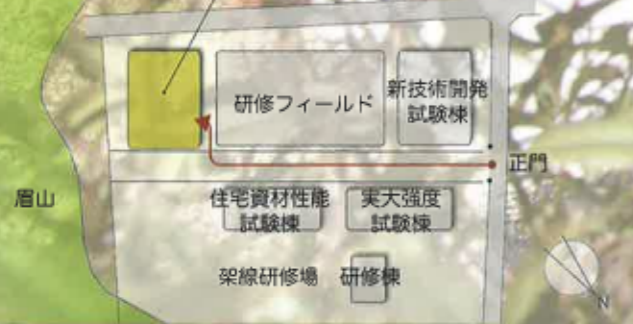


木材利用創造センター 林業人材育成棟

施設案内

林業人材育成棟

住所 徳島市南庄町5丁目1-9
電話・FAX 088-635-7810



建築データ

主要用途 講義室・シミュレータ室等
延べ面積 590.22 m²
床面積 472.02 m²
工法 在来軸組工法・木造平屋
使用県産材 約 200 m³
工期 設計 2017年4月～8月
施工 2017年8月～2018年3月
設計・施工 坂本工務店・内野設計
異業種特定建設共同企業体

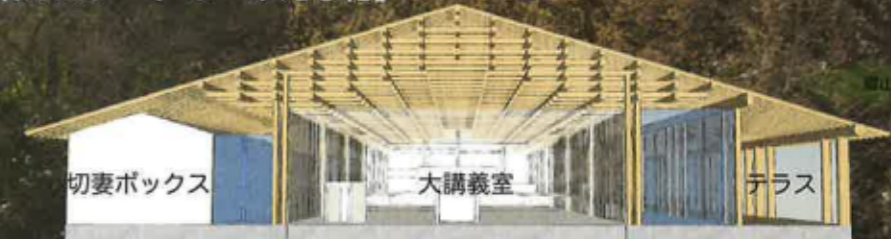
県産材と重ね梁

一般的に流通する県産材を重ねながら組み上げ、大空間を実現。また、MDFや藍染め板、突き板シート、三層パネルなど徳島県で開発・生産された木製品をふんだんに活用し、木造・木質内装の推進、ひいては林業の振興につながる施設です。

平面プラン



林業カスケードの「みえる化」



木質系成形板 五本組柱 小径材で構成の重ね梁 五本組柱 丸太組み

眉山側の軒下は丸太組み、大講義室は小径材で構成する重ね梁、北の入れ子状の切妻ボックスは木質系成形板で構成している。立木を伐採するところから、端材を使い切るところまで、林業カスケードを直接的に目に見える建築へ。現代に流通する木造建築周縁の技術を集め、再植林へとつながる森林循環の再生に寄与していきます。



▶自習コーナー
MDF完備。木粉の塗り壁と県産三層パネルによる机。シミュレータを操作する様子が見られる。



▶シミュレータ室
高性能林業機械・ハーベスタシミュレータを導入。待合の天井は県産の突き板シート使用。



▶大講義室(60名)
小径材を組み合わせた重ね梁が特徴的。建具を開放すると約100名の講演会等にも対応。



林業アカデミーの授業を中心に少人数の集中講義が行われる。三方ホワイトボードの防音仕様。
▶小講義室



手元を隠しつつ外の眺望を確保した開放的なつくり。壁面・天井ともMDF仕上げ。
▶事務室



▶テラス
南側に位置し、丸太を用いた開放的な明るい空間で眉山の季節変化を感じる。



▶カフェスペース
利用者各々が打ち合わせ等を行う。壁は木粉の塗り壁。家具は県産の徳島すぎ。



▶トイレ(写真は女子)
県産MDFを仕上げとして活用。だれでもトイレはオストメイト完備としている。

眉山山麓の校舎

■シンプルで美しい切妻屋根と、多層的な空間構成

眉山～山裾～テラス～下屋的空間～トップライト～屋内大空間～トップライト～ボックス空間～軒下玄関～屋外実習場へ。深い軒を介して外部と内部を多層的に接続する日本建築ならではの空間構成を用い、平地から眉山に大きな切妻屋根を架け渡している。

■眉山の端(は)にあって、最末端の木の専門家を育成する場

眉山はかつて「佐古山」「富田山」「大滝山」「勢見山」といったいくつかの山にわかれて認識されていた。戦火で多くの木造建築群が失われたが、現在の眉山は、散策、ジョギング、野鳥観察や俳句の会など、今ある自然を穏やかに楽しむ山として親しまれている。そんな眉山北麓の西の端に、林業の再興を目指す木造建築の知見の集積場所を成す。

■「田の字」をベースにした重なり合う空間

生活、儀式、季節や時間帯に応じて使いこなせる日本のすまいの原型「田の字」にならって、来訪者が求める用途やイベントなどに応じ、そのしつらえを変えることができるユニバーサルな空間をつくる。

